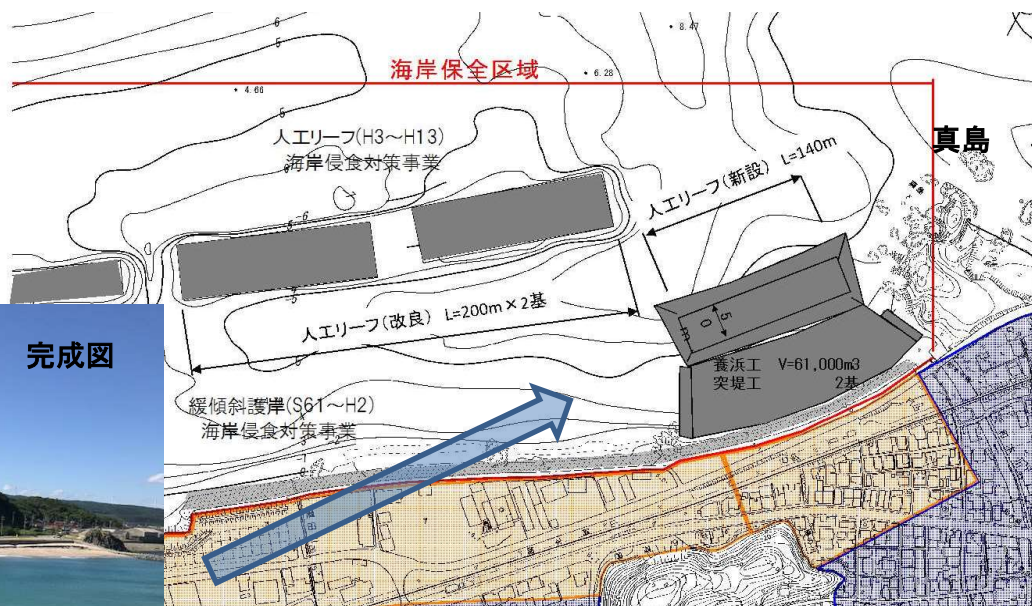


# 和木波子海岸侵食対策工事

和木波子海岸は、島根県中部に位置する砂浜海岸であり、隣接する郷田海岸、和木海岸とともに深刻な浸食被害を受けています。当海岸の背後にはJR山陰本線や国道9号、市道が存在するうえ民家や事業所が密集しており、今までに護岸工や消波堤などの線的防護施設と4基の人工リーフによる面的防護施設を整備してきました。

しかし、これまでの整備により一定の効果はあったものの、特に真島の西側から人工リーフ間の開口部において砂浜の減少が進んだため、冬季風浪などによる越波で市道の通行止めや背後地の塩害等が頻発するようになりました。

このような状況から人工リーフを整備したうえで養浜を行い、砂浜を回復して浸食と越波被害の防止を図るものです。



完成図



越波状況①

平成20年11月撮



越波状況②

平成21年4月撮影

事業概要
人工リーフ (新設) L=140m (H26完成)
養浜工 V=61,000m <sup>3</sup> (H30完成)
突堤工 N=2基 (H28完成)
人工リーフ (既設改良) L=200m x 2基

